



この写真は田口哲氏より提供頂いた写真です。

針を寝かせて泳ぐが、泳ぎは得意ではない。タモ網ですくえる。眼が大きく口は口ばし状に吐出し可愛い。

ハリセンボン科ハリセンボン属 【全長】30cm

# ハリセンボン

学名: *Diodon holocanthus*

## 分布域

本州・四国・九州・南西諸島に分布する。

## 生息域

主に沿岸部に生息する。



身体を膨らませると全身の棘が立つ。

身体全体に鱗が変化した棘があり、それが和名の由来となる。海水や空気を飲み込んで体を膨らませると棘が立ちイガグリ状態になる。実際の棘の数は350本前後。腹鰭は無い。背鰭や胸鰭・尾鰭をパタパタと動かし泳ぐ。歯は丈夫で上下1枚ずつ。甲殻類・貝類・ウニなどを噛み砕き食べる。本来は熱帯性の魚類で暖流に流され北上する。冬期の水温低下によって動けず、海岸線に大量に漂着することがある(死滅回遊)。

水槽での飼育は可能。餌は生きエビを好み、魚の切り身なども食べる。水槽の環境や人間にも馴れ、水槽内を上下に泳ぎ廻る。比較的丈夫だが、移動時にあまり揺らすと死んでしまう。冬季はヒーターが必要。

## 在来種

## 周縁魚

※ 冬期に海が荒れると海岸線に多くのハリセンボンが打ち上げられることがある。本来、泳ぎが下手な上に水温の低下や波が荒くて負けてしまう様だ。低水温時にはタモ網ですくえる。